

2012年8月21日

プレスリリース
報道関係者各位

合同会社土曜社

国際言論フォーラム「プロジェクトシンジケート叢書」を創刊

～《世界政府》を動かすグローバル・エリートの思考を知る～

合同会社土曜社（東京・渋谷）は8月、国際言論フォーラム PROJECT SYNDICATE との合意にもとづき、「プロジェクトシンジケート叢書」を創刊する運びになりました。

国際言論フォーラム PROJECT SYNDICATE は、チェコ共和国の首都プラハに拠点を置き、世界的に尊敬をあつめる指導者・思想家が書きおろす知的刺激にあふれた論考を、152か国・488を数える新聞・雑誌をつないで、世界じゅうの読者に届ける非営利の国際組織です。

日本からは、朝日新聞・読売新聞・日本経済新聞の各紙および週刊ダイヤモンド・週刊東洋経済といった経済誌をはじめとする各紙誌が、同プロジェクトの会員となっています。

日本版プロジェクトシンジケート叢書の第一弾をかざる『混乱の本質 叛逆するリアル 民主主義・移民・宗教・債務危機』には、政・官・財・NPOの各界から16名の論考をおさめ、徳川将軍家19代当主の徳川家広氏が日本語翻訳を担当します。

10月に東京で開催される世界銀行・IMF年次総会に合わせて、本書執筆陣の来日も予定されています。

第二弾は11月に予定し、以後季刊のペースで刊行していきます。

以上

書名：混乱の本質 叛逆するリアル 民主主義・移民・宗教・債務危機

執筆陣：ジョージ・ソロス（投資家）、ジョセフ・E・スティグリッツ（ノーベル賞経済学者）、クリスティーヌ・ラガルド（IMF専務理事）、ジャン＝クロード・トリシ

エ（前 ECB 総裁）、エステル・ダイソン（投資家）、ケマル・デルビシュ（米ブルッキングス研究所副所長）、ピーター・サザーランド（元 GATT 事務局長・前 WTO 総裁）、林毅夫（世界銀行チーフエコノミスト）、ローラ・タイソン（米カリフォルニア大学バークレー校教授）、李肇星（中国全国人民代表大会外事委員会主任委員）、ヴィンジャーカ・N・デサイ（アジア・ソサエティ総裁）、ハビエル・ソラナ（スペイン ESADE グローバル経済・地政学研究所所長）、アン＝マリー・スローター（米プリンストン大学教授）、ニーナ・L・クルシチェヴァ（米ニュースクール国際関係大学院教授）、ボブ・ダイヤモンド（英バークレイズ前 CEO）、トニー・ブレア（元英国首相）

翻訳：徳川家広〈とくがわ・いえひろ〉

ペーパーバック判（172 × 112 mm） 160 ページ 2012 年 8 月 25 日発売予定
ISBN978-4-9905587-4-1 本体 952 円

翻訳者略歴：

徳川家広〈とくがわ・いえひろ〉1965 年、東京に生まれる。徳川将軍家 19 代当主。慶應義塾大学経済学部卒業後、ミシガン大学で経済学、コロンビア大学で政治学修士号を取得。2001 年まで国際連合食糧農業機関（FAO）に勤務。主著に『バブルの興亡』『なぜ日本経済が 21 世紀をリードするのか』『ソロスは警告する』『最強国の条件』『ジョブズはなぜ天才集団を作れたか』など、翻訳書も多数。

連絡先：

合同会社土曜社

担当：豊田剛〈とよた・つよし〉 tsuyoshi.toyota@doyosha.com

150-0034 東京都渋谷区代官山町 14-6-301 | www.doyosha.com

t. 050-3633-1367 | f. 03-6369-3339